

ひろしま国際建築祭 2025

Hiroshima Architecture Exhibition 2025

10月4日(土)～11月30日(日)

合計
9人

ナイン・ヴィジョンズ | 日本から世界へ 跳躍する9人の建築家



令和7年(2025)10月4日(土)～11月30日(日)
尾道市立美術館
月曜日休館(ただし、10月13日、11月3日、24日[月・祝]は開館)
午前9時～午後5時(入館時間は4時30分まで)

会期中有効 尾道市立美術館《公印省略》
本券提出により1名無料/コピー不可

丹下健三「広島平和記念資料本館」(旧・広島平和会館)「尾道市立美術館」(旧・尾道市立美術館) 撮影:石光泰博、尾道市立美術館蔵

招
待
券

尾道市立美術館 建築的見所 POINT

安藤忠雄さんが改修・増築を手がけました。増築部分は底(ひさし)をもったガラススクリーンの外壁の中に、ANDO建築の特徴である美しい打放しコンクリートでつくられた展示室が挿入される構成となっています。

鑑賞パスポート必要
※単館チケットあり。

会場 尾道市立美術館

ナイン・ヴィジョンズ 日本から世界へ跳躍する9人の建築家

建築界のノーベル賞と言われる「プリツカー建築賞」を受賞した、9人の日本人建築家に焦点を当てる企画展です。
なぜ日本の建築家は世界で評価され、どのようにして世界レベルに達したのか？
その魅力と真相に迫ります。

会場 まちなか文化交流館「Bank」

うつすからだと、うつしの建築

尾道の日常生活の中には、様々な時代の建築が溶け込んでいます。「うつし」の建築に焦点を当てた高野ユリカさん(写真家)による、尾道の建築をみずみずしく写しだした写真展です。

※開催期間 10月4日(土)～11月3日(日)

会場 LLOVE HOUSE ONOMICHI

OPEN LLOVE HOUSE 尾道「半建築」展

長坂常さん(建築家)が率いる建築設計事務所の活動の記録や、活動のなかで生成されたサンプルや家具を展示します。長坂さん独特の考えである「半建築」の可能性を探る展示です。

※会期は公式サイトをご覧ください。

会場 LOG

Architecture Voice from LOG 「建築の声」を聞く

LOGの設計者や職人の想い、LOGが大切にしていることや取り組んできたことを知ることが出来るUMA/design farmによる体験型の展示です。

会場 ONOMICHI U2

「ZINE」から見る日本建築のNow and Then

「ZINE」とは、自主製作の雑誌やヴィジュアルブックを指します。日本の若手建築家がつくった「ZINE」や希少な建築系のヴィジュアルブックを集めた展示です。一部販売も行います。

※鑑賞パスポート不要。

鑑賞パスポート
(3日間有効 ※3日間連続使用。)

会場販売 3,000円

WEB販売 2,500円

*高校生以下と障害のある人はWEB申込により無料。
*尾道市立美術館のみ、単館チケット(一般1,000円/学生800円)を窓口で販売。

「ひろしま国際建築祭2025」の福山市内での展示やイベント、お問い合わせに関しては、公式サイトをご覧ください。



ひろしま国際建築祭 2025
Hiroshima Architecture
Exhibition 2025